

きらボ通信

第7号（2011年10月）

明星大学ボランティアセンター（愛称：きらきらボランティアセンター）

特集：東日本大震災とボランティア活動



東日本大震災のボランティア活動を考える

渡戸一郎

（本センター長/人文学部人間社会学科教授）

3月11日の東日本大地震（M.9.0）は東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。加えて、同時に起きた原発災害によって、福島県などでは風評被害も深刻になっています。被災地ではすでに復興に向けた取り組みも始まりましたが、ボランティアなどによる支援はこれからも必要です。

本センターでは、この間、高幡不動駅での月1回の義援金募金活動、震災ボランティアの情報提供とそれに参加する学生の支援、そして震災ボランティア活動報告会などを行ってきました。また、きょうだい校のいわき明星大学（IMU）があるいわき市と共催による農産物即売会やIMUとの合同ボランティア体験プログラムも実施しましたが、今後も学生や教

職員の支援活動をサポートしていきます。

16年前の阪神淡路大震災では、「ボランティア元年」と呼ばれたように、ボランティアの力が注目され、その後も大災害ごとに多くのボランティアが被災地で活躍してきました。しかし今回は東北から関東まで被災地はかなり広域にわたり、また原発災害による放射能の問題は、子どもも含めて多くの避難者を生んでいます。

被災地への支援は重要ですが、一方で被災地に行くことだけが支援ではありません。被災された人びとや地域のことを忘れないこと、そして一人ひとりができることをできる範囲で支援に継続的に取り組むこと。これらを同時に本センターは大切にしていきたいと思えます。

特集 東日本大震災とボランティア活動

1. 被災地支援ボランティア活動報告会

第1回 東日本大震災ボランティア活動報告会

日時：平成23年5月12日（木）18:00～20:00

場所：きらきらボランティアセンター（大学会館 2階）

参加者：20名

内容：（1）渡戸ボランティアセンター長挨拶

（2）「石巻被災状況」 佐々木涼（経営学科4年）

（3）「天ぷらバスで行く！週末ボランティア・アクション」

山本貴子（大学学長室企画課）

（4）「気仙沼・大島支援プロジェクト」

岩城 秀明（福島県庁から本学に臨床心理を学んでいる）

（5）「日野市社会福祉協議会の取り組み」「相馬市南相馬でのボランティア活動」

宮崎雅也（日野市社会福祉協議会）

（6）「気仙沼市大島でのボランティア活動」

大久保信昭（水と緑の環境ネットワーク）

（7）「いわき明星大学、いわき市の被災状況と取り組み」

高重正明（いわき明星大学前学長）

（8）「明星大学有志学生による募金活動、きらボの取り組み」

畑野理美（きらボ）

第2回 東日本大震災ボランティア活動報告会

日時：平成23年7月28日（木）18:00～20:00

場所：きらきらボランティアセンター（大学会館 2階）

参加者：22名

内容：（1）学生によるボランティア活動報告

「大島・気仙沼での活動について」

清水拓也（言語文化学科4年）

「募金活動について」

泉田正悟・坂本翔吾（日本文化学科1年）

（2）いわき農産物即売会

畑野理美（きらボ）

（3）近隣団体・施設による活動報告

小林郁義（立川市社会福祉協議会）、 荻原靖（すずかけの家）、

大久保信昭（水と緑の環境ネットワーク）



2. 学生震災ボランティア活動

4月以降被災地でボランティア活動を行った学生たち（きらぼへの登録分）

	学科・学年	人数	活動地	期間
1	経営・4年	学生1名	宮城県石巻市	平成23年4月25日～5月8日
2	教育・3年	学生1名	宮城県本吉郡南三陸町	平成23年4月30日～5月6日
3	教育・2年	学生1名	宮城県石巻市	平成23年4月24日
4	造形芸術・3年	学生1名	宮城県東松島市・石巻市・ 牡鹿郡女川町	平成23年5月5日～5月8日
5	教育・2年	学生7名	宮城県石巻市	平成23年5月13日～5月21日
6	福祉実践・1年	学生1名	岩手県下閉伊郡山田町	平成23年5月2日～5月3日
7	教育・2年	学生1名	宮城県石巻市	平成23年5月1日～5月4日
8	言語文化・4年	学生1名	宮城県気仙沼市・大島	平成23年5月20日～5月22日
9	教育・2年	学生1名	宮城県宮古市	平成23年5月28日～5月29日
10	教育・3年	学生1名	宮城県本吉郡南三陸町	平成23年6月17日～6月18日
11	教育・2年	学生1名	宮城県石巻市	平成23年6月8日～6月10日
12	福祉実践・2年	学生1名	宮城県石巻市	平成23年6月22日～6月24日
13	教育・3年	学生1名	宮城県岩沼市・気仙沼市・ 石巻市・名取市	平成23年8月10日～8月16日
14	教育・2年	学生1名	岩手県宮古市	平成23年8月2日～8月4日
15	心理教育・教育学専 修・3年	学生5名	岩手県陸前高田市	平成23年8月15日～8月21日
16	心理学科	教員1名、 学生18名	岩手県下閉伊郡田野畑村	平成23年8月1日～8月31日
17	建築学系・2年	学生1名	宮城県気仙沼市・大島	平成23年8月23日～8月27日
18	教育学科	教員1名、 学生4名	宮城県気仙沼市	平成23年8月24日～8月27日
19	教育学科	教員1名	宮城県気仙沼市	平成23年10月8日～10月9日
20	教育・2年	教員1名、 学生2名	宮城県南三陸町	平成23年8月7日～8月9日



3. いわき明星大学との合同「災害ボランティア体験」

8月26日（金）～27日（土） 1泊2日でいわき明星大学との合同「災害ボランティア体験」を実施いたしました。4月から計画を練り、この夏！実現。短期間ではありましたが、いわき明星大学の学生との交流を通し、新たな復興支援の形を話し合うことができました。

参加した学生からの声「いわき明星大学の学生さんたちと交流でき、貴重な経験ができた。」「この経験を大切に、今後の活動に活かします。」「3月11日当日の様子、体験談、福島の様子を肌で感じることができた。」等々、参加者21名。

【日程】

8月26日 大学会館前集合 9:00 明星大学スクールバスにて出発－13:30 いわき明星大学到着－いわき明星大学学生と意見交換－被災地視察（大学周辺仮設住宅、久ノ浜地区）－宿舎/湯の岳山荘へ移動－夕食－勉強会、NPOいわきの森に親しむ会」理事長松崎氏講話「いわき市の成り立ち（江戸時代から今日まで）」

8月27日 7:00 起床－7:30 朝食－9:00 ボランティア体験 断層見学、草刈－ 昼食－ふくしま国際メディア村訪問－14:00 現地出発－18:00 明星大学到着－解散



いわき公園



いわき明星大学



湯の岳断層



草刈



意見交換会



4 メディア村村長 荻野政男氏（写真中央）

《参加者感想》

- 今回のボランティア体験で、震災があった後、初めて現地に行くことができました。私の祖父母の家が、地図上でいわき市の上にある富岡町にあり、1日目に行くことができた海岸にはよく家族、親戚と遊びに行った記憶があります。だいぶ復興が進み、土地も整理されているとのことでしたが、実際の光景はショッキングなものでした。

また、現地のいわき明星大学の学生とも話をすることができ、その中で印象的だったのが、彼らの1人から「もし原発をまた作るなら自分たちの近く（東京）に作るべきか、福島にまた作るべきか？」と聞かれたことです。私自身よく考え、返答しましたが、実際にそこに住む彼らと、離れた土地に住む私たちでは考えにギャップがあることを改めて感じました。今後も、ボランティアをはじめとして様々な支援活動が行われていくと思われませんが、両者の中間に位置する団体や個人がより重要になってくると感じました。

石丸元紀（人文学部 心理教育学科 教育学専修4年）

- 初日のいわき明星大学生の方のお話はとても貴重だったと思いました。地震発生時の話から、その後の復興の話、又原子力発電所の問題を東京に住んでいる人はどのように感じているかなどの質問など、こういった場でしかできないお話をしまして、改めて自分たちがどのように災害と向き合わなければいけないかを考えさせられました。もしこういった活動をまた行うのであれば、是非ともまたこういった意見交換の場を作っていただきたく思います。

そして二日目には宿泊した山荘の雑草刈りを行いました。私にとっては久しぶりの草刈であったため、かなり腰に来る作業でした。そのためあまり作業が進まず、心苦しい結果になってしまいました。同じ日に山荘の方の森林体験のお話も大変興味を持ちました。山や木、自然に関する考え方を教えていただける貴重な体験でした。ふくしま国際メディア村での野外音楽祭では短い時間でしたが、震災復興への気持ちが伝わる音楽を聞くことができ、ふくしまの方々がいち早くもとの生活に戻れることを願いました。

今回のボランティア体験を通して私が一番感じたことは、自分たちが出来ることは本当に少しのことだけということでした。しかし小さなことでも行わないよりも、行なったほうがよいということを学び、こういった活動をもっとしていきたいと思ったことだと考えています。次回の活動が決まりましたら又お声をかけてくださると幸いです。

伊藤遼平（経済学部 経済学科4年）

- 私が今回「いわき明星大学との合同ボランティア体験」に参加したきっかけは、きらボの職員さんにお誘いを受けたことでした。かねてから被災地の状況に興味があった私は、ボランティアに参加させて頂きました。

今回のボランティアは主に被災地見学や福島に住む方々とのミーティングなどで、現在の福島の状況を肌で感じる事が出来ました。その中で私は、今後ボランティアが出来る事や、ボランティアに求められていることを考えました。

実際に被災地で瓦礫を集めたり、生活支援を行うことは非常に重要であり、また急務です。しかし、被災地が整理され、被災地の方々の生活が元通りになった時点でこの支援は終わるものではありません。重大な被害を受けた人々の精神的ケアや、地域社会の復興、また今回の震災で明るみになった日本の社会構造の問題など、様々な問題と長期的に向き合っていくことが、ボランティア・そして日本人に求められているのだと感じました。

今回の活動は非常に貴重な体験となりました。お誘いして下さったきらボの職員さん、そして協力して下さいました福島の皆様、ありがとうございます。今後とも宜しくお願いします！

菊池広朗（人文学部 人間社会学科3年）

4. 募金活動

これまでの明星大学学生有志による高幡不動駅での募金の総額は¥493,084 です。

(2011年4月～9月11日)

この義援金は日野市社会福祉協議会を通して中央共同募金会に納められます。

あたたかいご支援まことにありがとうございます！

(毎月11日、日野市協議会と協力して高幡不動駅改札前にて募金活動を実施しております)

東日本大震災 募金活動 届出書一覧

	所属	参加人数	活動地・募金金額	活動日
1	教育学部	体育教員7名	明星大学 大学構内 172,664 円	平成 23 年 4 月 11 日～4 月 13 日
2	めばえの会 MCAT 他	学生20名	高幡不動交番前 245,000 円	平成 23 年 4 月 2 日
3	MCAT	学生4名	明星大学 大学構内 42,259 円	平成 23 年 4 月 5 日
4	MCAT 野球部 他	学生16名	高幡不動駅構内 58,815 円	平成 23 年 5 月 11 日
5	ラグビーフットボール部	学生他10名	府中競馬場 251,500 円	平成 23 年 5 月 15 日
6	MCAT 野球部 他	学生15名	高幡不動駅構内 53,677 円	平成 23 年 6 月 11 日
7	MCAT 野球部 他	学生12名	高幡不動駅構内 51,560 円	平成 23 年 7 月 11 日
8	MCAT 他	学生5名	高幡不動駅構内 42,073 円	平成 23 年 8 月 11 日
9	MCAT	学生4名	高幡不動駅構内 (日野市社会福祉協議会)	平成 23 年 9 月 11 日

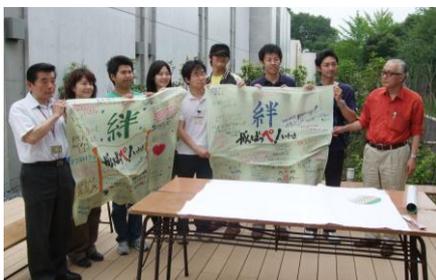
5. いわき市・いわき明星大学応援 農産物即売会

かばっぺ in 明星大学
いわき

ふくしまの農産物を応援しようと、明星大学では、6月9日(木)11:00～明星大学12号館 Star★Shops ウッドデッキにて、農産物即売会を実施しました。来場者約150名。いわき市の協力で、新鮮で安全ないわき産のトマト、いちご、ねぎ、きゅうり、アスパラガスなどが当日早朝大学に届けられました。1時間程で完売となる大盛況でした。ボランティアセンターは事前にチラシを大学近隣の住宅のポストに投入する等のお手伝いをしました。また、ボランティアセンターでは学生たちで応援メッセージを布に寄せ書きし、いわき市といわき明星大学に贈りました。

主催：福島県いわき市【いわきの農産物は安全！オール日本キャラバン】

共催：きらきらボランティアセンター



学生ボランティア活動に期待するもの

学生の募金活動に感銘！

ボランティアセンター

主幹 吉田 雅行

3月11日の東日本大震災とそれに伴う巨大地震と原発事故は、東日本の太平洋沿岸地域に甚大な被害を与え、多くの被災者及び避難者を発生させました。震災が発生してから半年以上経ちましたが、現地ではいまだに多くの被災された方々が支援を必要としています。

そのような状況の中で、本学学生有志が4月から毎月続けている活動が「東日本大震災被災者救援募金活動」です。この活動は被災者のために「何かできることはないか」という思いをもった、数名の学生たちの呼びかけで始まりました。

第1回目は学生が事前に日野市社会福祉協議会から、募金の方法等について指導を受け、募金活動を開始しました。場所は京王線の高幡不動駅構内で10:00から12:00の2時間、学生たちは駅構内を利用する人々に声がかかるまで募金の協力を全力で訴えていました。学生有志の諸君はMCATをはじめ、めばえの会、野球部、一般学生有志等々10数名にもなり、この活動は継続してこそ意義があるのではないかとという学生自らの意思で、毎月11日に実施しています(3月11日の大地震が発生した11日を募金の日と決めました)。

私も一緒に参加しておりますが、この活動に参加している学生の中には、家族や親戚が被災している人もいます。当該学生の、「被災者救援のために自分も頑張るんだ」という強い気持ちをもって活動しているその思いが伝わってきます。この活動をしている中で、毎月11日に本学学生が募金活動で頑張っている様子を見て感銘し、毎回寄付をしてくださる人も出てくるようになりました。こういう学生のボランティア精神が、「多くの人たちの心を動かしているのだ」と私自身もつくづく感銘を受けました。

学生の現場から きらぼ☆勤労生紹介

鈴木 峻 (人文学部 心理教育学科 教育学専修3年)

こんにちは。人文学部心理・教育学科教育学専修3年の鈴木峻と申します。ボランティアセンターの勤労生としては2年目になります。ボランティアセンターには、学生はボランティアを探しに来る以外にも、談笑しに来る人や待ち合わせをしている人など、様々います。雰囲気がとても良いんです。私自身もボランティアセンターの雰囲気が大好きで、よく授業の空き時間で暇な時間は自然に来てしまっています。是非、ボランティアセンターに来たときには声かけてくださいね。

~~~~~  
遠藤 司 (人文学部 心理教育学科 教育学専修3年)

こんにちは！人文学部 心理・教育学科 教育学専修3年の遠藤司と申します。将来の夢は、優しい頼りになるお父さんの様な保育士になることです。

ボランティアセンターでは、多くのことを学ぶことが出来ました。私の知らなかったボランティアの募集がたくさんありました。例えば里親のサポートをするボランティアなどがあります。里親も他の親

と同様に子育てに悩むことがあると知ることができた。又震災のことなども考えさせられることがたくさんありました。皆さんもぜひ一度ボランティアセンターに足を運んでみて下さい。

~~~~~

榎原里奈（人文学部 人間社会学科2年）

今年度一年間勤労奨学生としてボランティアセンターで勤務に励む中で私は、如何に普段の学校生活に多くの方が携わり、支えて下さっているのかを改めて痛感しました。

また、今年度は東日本大震災という大きな災害を経験し、きらぼボランティアセンターは大学の震災ボランティアの最前線に立つ部署となりました。現地へ震災ボランティアに向かう学生や、自分にも何か出来ることがないかと、きらぼの扉を叩く学生が後を絶たず、またそんな人たちに接する中で私自身触発されるものが数多くありました。大変な一年となりましたが、そんな激動の一年にボランティアセンターの勤労として励み、少しでも携われたことを嬉しく思います。ありがとうございました。

~~~~~

竹内夏菜（教育学部 教育学科特別支援教員コース2年）

きらぼは、人と人が繋がる場所です。一言にボランティア活動と言っても、そこにはたくさんのお会いやドラマがあって、多くの人々の支えや思いがあるということを常に感じてきました。ボランティアをする学生とそれを受け入れる側の方、共にボランティアに励む仲間や先輩後輩、そして勤労生の私達もこのボランティアセンターを通じて様々な出会いがありました。そんな思いや出会いを大切に仕事して素敵だと思います。

また、今年に入った頃から、ボランティア活動等関係なくふらっときらぼに遊びに来る人がたくさん増えたような気がします。ボランティアをしたい人はもちろんのこと、ちょっと遊びに来た人やゆっくりに来た人もみんな歓迎してくれる、そんな懐の深さもきらぼの魅力だと思います。これからも、気軽に立ち寄れる雰囲気大切にしながら、きらぼに携われたらなと思っています。

~~~~~

船井崇博（理工学部 総合理工学科環境生態学系2年）

私は今までアルバイトの経験がなくて不安でした。今まで、関わることのなかったような方たちや目上の方たちといった人と接しなければならない、どの仕事も責任があるなど、最初はこの勤労奨学生をしたことを少し後悔していました。しかし、きらぼを通じて様々な出会いや経験をすることで多少の自信を得ることができ、きらぼの方々や他の勤労生の温かい思いやりや気遣いのおかげで楽しく仕事をすることができています。特にエコキャップ集めが気に入っています。リサイクルによる環境保護にもつながり、途上国の子どもたちのワクチン代にもなるので力を入れています。誰でも参加できるプチボランティアです。引き続きご協力をお願いします。



エコキャップ回収



鈴木君 遠藤君 竹内さん 船井君 榎原さん

昼休みミニ講演会

きらボではお昼休みに、ボランティアにまつわる講演会を行っています。

学生ボランティア活動へのお誘い

～広がる世界、つながる仲間～

日程：2011年4月25日（月）～29日（金）、5月9日（月）～13日（金）

12：25～12：45（20分）

会場：きらきらボランティアセンター〔日野校22号館（大学会館）2階〕

4月25日（月）

「ボランティア活動入門」 吉田 雅行（ボランティアセンター主幹） 参加人数22名

4月26日（火）・5月10日（火）

「自然環境保全ボランティア」 吉澤 秀二教授（ボランティアセンター副センター長・環境システム学科）
参加人数30名

4月27日（水）・5月11日（水）

「夜回り活動とボランティア」 石田 健太郎（教育学科） 参加人数30名

4月28日（木）・5月12日（木）

「東日本大震災被災地ボランティア活動について」

渡戸 一郎教授（ボランティアセンター長・人間社会学科） 参加者20名

4月29日（金）・5月9日（月）

「コミュニケーションの技」 黒岩 誠教授（心理学科） 参加者15名

5月13日（金）

「明星大 学生たちのボランティア活動」 畑野 理美（ボランティアセンター主任） 参加者13名



きらボ設立3周年記念 きらボ展



みんな キラキラしてるよ!

東京都東村山福祉園「きらボ展」アートだよ、全員集合!

2011年6月13日(月)~17日(金) 10:00~16:30

明星大学日野校22号館・大学会館2階 ボランティアセンター横 会議室

(企画趣意)

学生たちが東京都東村山福祉園の利用者さんのアート作品に触れることで、障害者の方への理解を深め、福祉の心を育てる。また、地域社会の発展にも貢献することで、福祉の心を広げる。

企画協力 南控 南 (絵本作家)

東京都東村山福祉園は重い知的障害をもち、介助者が多く、薬物医学的な配慮を必要としている児童を対象として児童の自立支援、行動障害の軽減と調和のとれた発達を図るために設立された施設です。

明星大学ボランティアセンター (愛称: きらボボランティアセンター) は設立3周年を迎えました。これを機会にこの絵画展を企画しました。

お問い合わせ 明星大学ボランティアセンター
042-591-6231 E-mail: kiravo@gad.meisei-u.ac.jp

明星大学
MEISEI UNIVERSITY



東村山福祉園と同園で絵画指導をされている絵本作家の南控控さんのご協力をいただき、きらボ展「みんなキラキラしているよ！」をきらボ横の会議室にて開催しました。

2011年6月13日(月)~17日(金) 10:00~16:30 来場者数 学内 350 学外 90名

交流会 6月15日(水) 14:00~15:00 きらボ

参加者 50名 (福祉園利用者 13名 職員 15名 明星大学学生 12名 教職員 7名 法人本部広報課 3名)

1. 開催のあいさつと東村山福祉園紹介

東京都東村山福祉園は、昭和47年に開設された重度の知的障害児の入所施設です。

現在福祉園では、8歳から41歳の160名の方が生活されています。利用者の生活は、学校に通っている方から、既に特別支援学校を卒業されて福祉園の中で様々な活動に参加されている方まで多岐にわたっています。今回展示している作品は、絵画活動のなかで思い思いに個性を發揮して描かれたものです。是非、この機会に利用者の作品に触れていただき、障害をもつ方に対する理解を深めていただきたいと思います。また、利用者の生活をより豊かにしていくことを目的に、ボランティアとして福祉園に来ていただける方を募集しています。興味をもたれた方は、気軽にご連絡ください。

それでは、しばし利用者の作品をお楽しみください。

齋藤 彰廣 (東村山福祉園長)

東京都東村山福祉園の利用者さんの絵は、ただ描くことの喜びが色と形になってあふれ出ている、純粹そのものの絵画です。毎週水曜日、数時間だけの教室ですが、講師である私にとっても常に発見と驚きに満ちた創造の時間です。今回、明星大学ボランティアセンターとの素敵なコラボレーションでこのような展覧会を開くことができました。ボランティアセンターのスタッフ、学生の方々、本当にありがとうございました。この素晴らしい作家たちの絵が、ご来場されたみなさまの心にあたたかく届くことを願っています。

みなみ こうこう

南 控控 (東京都東村山福祉園 絵画活動講師)

2. 「きらボ展」開催のごあいさつ

多摩地域には社会福祉施設が沢山ありますが、今回は縁あって東村山福祉園と同園で絵画指導をされている絵本作家の南控控さんのご協力をいただき、きらボ展「みんなきらきらしているよ！」を開催する運びになりました。本センターは今年5月に設立後3年が経過し、この展示会を3周年記念事業として開催します。この間、本学では福祉分野をはじめ、環境、国際協力などの学生ボランティア団体が次々

に生まれてきましたが、この展示会を通じて、学生だけでなく、ひろく地域の市民の方々にも障がいをもつ人びとによる素晴らしいアートの世界にふれていただけることを願っています。

渡戸 一郎（きらきらボランティアセンター長）

受賞 採択！！

平成 22 年度「学生ボランティア団体助成」 児童文化研究会 人形劇団まめ

「私たち児童文化研究会は「人形劇団まめ」として、児童館や公民館、明星大学の文化祭などで人形劇の講演を行っています。平成 22 年度は 4 つの劇を作りました。今まで作ったことのないタイプの人形の作製に取り組んだり、初めて公演を行った場所があったりと、充実した年となりました。

今後も新しいことに挑戦しながら、良い劇を作っていきたいです。また、子どもたちや地域の人たちを楽しんでいただけるよう心がけながら、部員一同力を合わせていきたいと思ひます。

佐藤彩香（心理教育学科心理学専修 3年）

◆平成 22 年度活動報告～（平成 23 年 4 月 22 日）

私たち児童文化研究会は「人形劇団まめ」として、児童館や公民館、明星大学の文化祭などで人形劇の公演を行っています。劇の台本や人形は、全て部員が手作りをしています。

平成 22 年度は 4 つの新劇を作りました。今まで作ったことのないタイプの人形の製作に取り組んだり、初めて公演を行った場所があったりと、充実した年になりました。

今後も新しいことに挑戦しながら、良い劇を作っていきたいです。また、子どもたちや地域の人たちを楽しんでいただけるように心がけながら、部員一同力を合わせて活動していきたいと思います。

〔写真：春合宿での公演〕



「真夜中の友達」



「僕とロボット君」



「マジックちゃんとおばけ王子」

◆活動内容一覧（平成 22 年 8 月～平成 23 年 3 月）

- ・ H22.8.24 昭島市児童センター「ぱれっと」（活動内容：人形劇公演）
- ・ H22.9.6 檜原村やすらぎの里（活動内容：人形劇公演、バルーンアート作品配布）
- ・ H22.9.8 東京都立府中特別支援学校（活動内容：人形劇公演）
- ・ H22.10.30～11.1 明星大学学園祭「星友祭」（活動内容：人形劇公演、子どもたちとの交流）
- ・ H.23.3.6 大久保集落センター（活動内容：人形劇公演、子どもたちとの交流）

※この度交付された助成金 10 万円は春合宿宿泊費に使わせていただきました。

ボランティアセンターは警視庁より感謝状をいただきました！

5月26日、学生の空き時間を利用して近隣地域の住宅街の防犯パトロールや小学校の下校児童の見守り活動などで地域安全運動を積極的に推進したこと、安全で明るく住みやすいまちづくりに尽力したことによって、警視庁生活安全部長より感謝状をいただきました。これからもボランティアセンターは、学生のボランティア活動を積極的に支援していきたいと思っております。



☆センター活動報告 (2011年2月からの主な活動) ☆

月	日	行事等
2	1	「東京都八王子児童相談所」来室
2	2	「東京都八王子市立浅川中学校」来室
2	3	「高月病院」、「日野市青少年委員」来室
2	5	日野市安全安心まちづくり研修会にて活動報告
2	7	「日野市防災安全課」、「パレスホテル立川」来室
2	8	社会福祉法人「太陽福祉協会 日の出太陽の家」来室
2	10	第18回手話講習会 (参加者8名)
2	15	振り込め詐欺被害防止キャンペーン (参加者10名)
2	21	日野警察少年課来室
2	22	第19回手話講習会 (参加者10名)
2	23	ひったくり防止防犯ボランティア (参加者30名)
2	24,25	「ネットワーク多摩」来室
2	28	エコキャップ回収2月分合計27kg
3	3	「日野警察 警務課」来室
3	7	NPO法人「フレンドシップキャンプ」、公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」来室
3	8	「上石神井中学校」来室
3	10	「日野市青少年委員」来室
3	11	日野警察署生活安全課と花壇の植え替え活動 (参加者3名)
3	14	「ネットワーク多摩」来室

3	17	第6回ボランティアセンター運営委員会
3	23	「日野警察」来室
3	29	南控控（みなみくうくう）氏来室
3	31	エコキャップ回収3月分合計 38.5kg
4	2	高幡不動駅前にて東日本大震災募金活動。（日野ケーブルテレビ放映）
4	4	「八王子市教育委員会」来室
4	7	「東京都青少年・治安対策本部総合対策部安全安心まちづくり課」「日野市社会福祉協議会」「日野市環境保全課」来室
4	8	「日野市社会福祉協議会」「日野市環境保全課」「八王子教育委員会」来室
4	14	「日野市環境保全課」「八王子福祉団体」来室
4	18	「日野市青少年委員会」来室
4	19	「ネットワーク多摩」来室
4	20	「日野市社会福祉協議会」「ちびっこ龍馬元気の会」来室
4	25	第1回学生ボランティアグループ会議
4	30	エコキャップ回収4月分合計 26kg
5	9	「国立YMCA」来室
5	10	「ひの社会教育センター」来室
5	11	「ナジック」来室
5	12	第1回東日本大震災ボランティア活動報告会（参加者 20名）
5	17	第1回ボランティアセンター運営委員会
5	19	第1回手話講習会（参加者 10名）
5	24	第2回学生ボランティアグループ会議
5	25	「日野市環境保全課」来室
5	31	エコキャップ回収5月分合計 36kg
6	2,3	「ネットワーク多摩」来室
6	7	第3回学生ボランティアグループ会議
6	9	いわき市・いわき明星大学応援農産物即売会，第2回手話講習会（参加者 13名）
6	10	「ケアハウス クローバー」来室
6	13~	東京都東村山福祉園「きらぼ展 アートだよ、全員集合！」
6	17	来場者数 学内 350名学外 90名 （15日東村山福祉園と明星大学学生との交流会 実施/参加者 50名）
6	14,21	「日野市社会福祉協議会」来室
6	27	「ノートテイク講習」実施（参加者 2名）
6	28	MCA Tミーティング
6	29	第4回学生ボランティアグループ会議
6	30	第3回手話講習会（参加者 8名），エコキャップ回収6月分合計 61kg
7	11	「ノートテイク講習」実施（参加者 2名）
7	12	第2回ボランティアセンター運営委員会

7	16	パソコンテイク講習会（参加者9名）
7	26	「ネットワーク多摩」「青梅白寿会」来室
7	28	第2回東日本大震災ボランティア活動報告会（参加者22名）
7	31	エコキャップ回収7月分合計29.2kg
8	5	「NPO法人 全国要約筆記問題研究会」来室
8	8	東京ボランティア・市民活動センター新任研修にて活動報告
8	26～	いわき明星大学との合同「災害ボランティア体験」
8	27	
8	31	エコキャップ回収8月分合計26.4kg
9	6	「エクセルサービス」来室
9	7	「日野市少年学級」来室
9	27	第5回学生ボランティアグループ会議、第3回ボランティアセンター運営委員会
9	29	第4回手話講習会（参加者12名）
9	30	エコキャップ回収9月分合計83.3kg

2011年度学生教育ボランティア参加者数

2010年度	48名
2011年度（4月～8月）	51名

注：「学生教育ボランティア」； 社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩が主催している。ネットワーク多摩に加盟している多摩地域の40大学が、加盟行政の小・中学校の教育現場で「お兄さん・お姉さん」先生として授業のサポートやクラブ部活の補助などをしてくれる大学生の事です。

◆ボランティアセンター登録団体（2009年3月末現在）

学内	18団体	①教育研究部 ②ボランティアサークル「めばえの会」 ③初等教育研究会 どんこの会 ④ボランティアサークル「SMILY」 ⑤I dear 研究会 ⑥朝日キャンブ ⑦ひまわり ⑧へき地教育研究会 ⑨児童文化研究会「人形劇団まめ」 ⑩あすなろの会 ⑪BUKAS ⑫Star☆shops ⑬防犯ボランティア隊MCAT ⑭「Rainbow sign」 ⑮Meisei Clean Project ⑯緑地環境保全ボランティアサークル「クローバー」 ⑰NPO法人フレンドシップキャンブ ⑱Merci
学外	82団体	1：障害児放課後活動クラブオンリーワン（府中市八幡町） 2：NPO法人Filo（多摩市落合） 3：NPO法人Hope Scoop Asia（福生市本町） 4：「めばえ」の会（青梅市新町） 5：コシヒカリの郷南魚沼市自然体験村実行委員会（新潟県魚沼市六日町） 6：日の出町ボランティアセンター（西多摩郡日の出町） 7：NPO法人日本子守唄協会 東京多摩支部（福生市加美平） 8：社会福祉法人武蔵野会 すぎな愛育園（八王子市台町） 9：ひの市民活動団体連絡会[ひの市民活動支援センター]（日野市日野） 10：日野市立つばさ[自立訓練・就労]（日野市旭が丘） 11：日野市立やまばと[地域活動支援]（日野市旭が丘） 12：NPO法人なかよし会 なかよしクラブ（三鷹市牟礼） 13：あさやけ作業所（小平市小川） 14：NPO法人全国移動サービスネットワーク（世田谷区船橋） 15：ひの炭やきクラブ（町田市小山町）

	<p>16：水と緑の日野・市民ネットワーク[みみネット]（日野市日野本町） 17：児童養護施設れんげ学園（東大和市芋窪） 18：都立多摩桜ヶ丘学園 島田分教室（多摩市中沢） 19：社会福祉法人 東京光の家（日野市旭が丘） 20：社会福祉法人 夢ふうせん 工房夢ふうせん（日野市旭が丘） 21：東京都 日野療護園（日野市落川） 22：日野市 環境情報センター（日野市日野本町） 23：東京 YWCA 国領センター（調布市国領町）</p> <p>24：社会福祉法人共働学舎（町田市小野路町） 25：日野市国際交流協会（日野市本町）</p> <p>26：NPO 法人 ふみ月の会（調布市布田） 27：立川市青春学級（立川市柴崎町） 28：あきる野市社会福祉協議会 市民活動推進係（あきる野市平沢） 29：VFM 東京（青梅市） 30：いきいきふれあいフェスティバル実行委員会（青梅市今寺） 31：島田療育センター（多摩市中澤） 32：あきる野青年会議所（あきる野市秋川） 33：日本児童野外活動研究所（品川区西五反田） 34：日野・発達障害を考える会「スキッパー」（日野市多摩平） 35：特定非営利活動法人 療育ネットワーク川崎（川崎市多摩区） 6：CoCoA（豊島区東池袋） 37：社会福祉法人 ココロ学舎（西多摩郡瑞穂町） 38：社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム（立川市錦町） 39：ボランティアグループこすもす（日野市多摩平） 40：NPO「おたすけ個別補習塾」（日野市三沢） 41：地域デイサービス テイクオフ（立川市高松町） 42：日野市障害児童クラブ（日野市平山） 43：野楽（tama Rock）（府中市是政） 44：NPO 法人 グループゆう（東大和市中央） 45：財団法人日本野鳥の会（日野市南平） 46：日野市青少年委員の会（日野市神明） 47：NPO 地球緑化センター（中央区八重洲） 48：ペットを災害から守る市民の会（立川市高松町） 49：社会福祉法人 山の子会 山の子の家（日の出町大久野） 50：すみれいきいきケアサポート（八王子台町） 51：滝乃川学園（国立市谷保） 52：財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン（新宿区西新宿） 53：スープの会（新宿区赤城下町） 54：特別養護老人ホーム こもれびの郷（あきる野市雨間） 55：特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン（台東区東上野） 56：知的障害児者デイサービスグループ ばんびの会（西東京市田無町） 57：みんなの森準備会（西多摩郡日の出町） 58：任意団体日本障害者モータースポーツ協会（青梅市二俣尾） 59：医療法人社団東京愛成会 高月病院（八王子市宮下町） 60：緑地管理ボランティアの会（日野市旭が丘） 61：サポートチーム「むく」（多摩市山王下） 62：きょうだいの会（横浜市南区） 63：社会福祉法人 正夢の会 昭島生活実習所（昭島市松原町） 64：湘南自然学校（茅ヶ崎市ひばりが丘） 65：特定非営利活動法人 ECOPLUS（千代田区鍛冶町） 66：東京ローターアクトクラブ（日野市程久保） 67：NPO 法人 ここかまど（八王子市上野町） 68：東京ヴェルディボランティア（稲城市矢野口） 69：NPO 法人 野外遊び喜び総合研究所（あばれんぼキャンプ）（府中市晴見町） 70：知的障害者厚生施設（通所）すずかけの家（日野市南平） 71：ちーむ夢人間 にこにこキッズルーム（調布市小島町） 72：NPO 法人 ACTION 73：特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ 74：公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会 75：NPO. JRC ちびっこ龍馬元気の会 76：NPO 法人 CES 八王子生活館 77：社会福祉法人 多摩養育園 78：介護老人保健施設 クローバー 79：社会福祉法人 東京援護協会 サルビア荘 80：特定非営利活動法人 花岡児童総合研究所 81：日野市立 はくちょう 82：日野市 少年学級</p>
--	---

